

年 組 名前:

シカ皮でアウトドア製品

昭和の会社「駆除廃棄減へ貢献」



シカ皮を使用したアウトドア用品などを展開する新ブランド「THREEAWE」の製品

トリミングサロンを運営する「Avecie」（昭和町河西、大和田希美社長）は、害獣駆除で捕獲されたシカの皮を使ったアウトドア製品のオリジナルブランドを立ち上げた。第一弾としてキャンプ用のガス缶カバーなどを製作。5月ごろから販売を始める。同社は「廃棄されることが多いシカ皮を使うことで、SDGs（持続可能な開発目標）に貢献できる」としている。

同社によると、ブランド名（同社担当者）という。野生のシカ皮のため傷が「アー」。ガス缶カバーのほかに、犬用の首輪やリードを製作している。同社は「デザインの一部として取り入れる。県内の猟師が北杜市や富士河口湖町などで捕獲したシカの皮を使用する。」

県内では年間約1万7千頭のシカが管理捕獲されているが、このうち約9割が廃棄されているという。同社はシカ皮を有効活用しながら、近年ブームとなっているキャンプなどのアウトドアグッズをつくらせ、新たなブランドを立ち上げることになった。

販売価格は缶カバー（レギュラー）が5830円、首輪が1万5600円など。5月ごろからEC（電子商取引）サイトや運営するトリミングサロンで販売する。

今後はスノーボードやスキー用のグローブ製作などを予定している。同社の担当者は「シカ皮は保温性に優れ、水にぬれても変色しにくい特徴があり、アウトドア用品に向いている。廃棄されるシカ皮を使用し、循環型社会の創出につなげたい」と話している。

（山本昂輝）

(2023年4月5日付 山梨日日新聞7面)

問1

昭和町のトリミングサロンが、シカ皮のアウトドア製品を販売する理由を、教えてください。

.....

問2

山梨県内では、年間に何頭のシカが管理捕獲され、何割が廃棄されていますか。

・管理捕獲数: 頭 ・廃棄率: 率

問3

シカ皮には、どのような特徴があり、アウトドア用品に適していますか。

.....